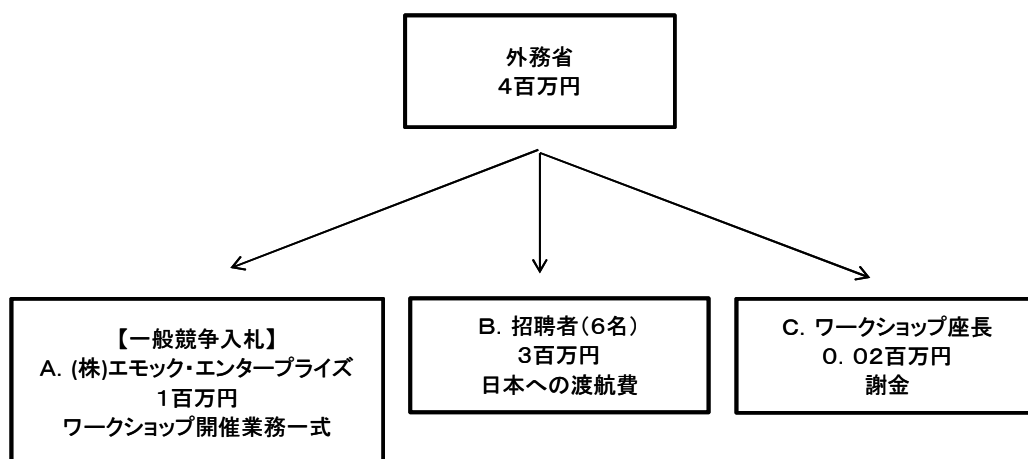


平成23年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	中・東欧地域協力促進専門家会合			担当部局庁	欧州局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始			担当課室	中・東欧課			課長 河津 邦彦	
会計区分	一般会計			施策名	I-4 欧州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第2項			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度)	中・東欧諸国における地域協力の促進及びこれに向けた我が国の知見提供を目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	EUの裏庭に残された不安定要因となっている西バルカンを中心に、中・東欧諸国から政策運営に携わる政府ハイレベルや専門家計8名の参加を経て、専門家会合を開催するための経費。 (活動実績) 平成20年度 「南東欧地域防災ワークショップ」を開催。 平成21年度 「開発協力セミナー」を開催。 平成22年度 「防災分野における南東欧地域協力促進ワークショップ」を開催。『V4+日本』エネルギー効率化・再生可能エネルギー・ワークショップについては、東日本大震災のため開催直前にキャンセルとなった。								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	15	12	11	8	6		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	15	12	11	8	6		
	執行額		9	5	4				
	執行率(%)		61%	44%	37%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	中・東欧諸国における地域協力の促進及びこれに向けた我が国の知見提供を行う。その効果全般を定量的に示すことは困難であるが、右も踏まえて日・チェコ・アンゴラ間の三角協力が1件実現した。			成果実績	日本と中・東欧諸国による協力事業数	—	—	1	—
				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	中・東欧諸国から政策運営に携わる政府ハイレベルや専門家の参加を経て、専門家会合を開催。			活動実績 (当初見込み)	会合の開催件数	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
単位当たりコスト	4百万円/回			算出根拠	防災分野における南東欧地域協力促進ワークショップ執行額(4百万円)/専門家会合開催回数(1回) (平成22年度)				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	外部委託	6770	5357	事業見直し、単価見直し等による減					
	人件費	445	469						
	会議費	380	394						
計	7,595	6,220							

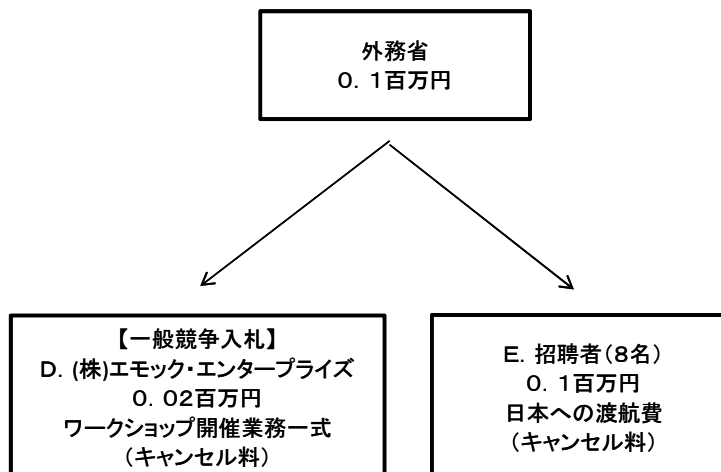
事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成22年度については、12月に行った「南東欧防災ワークショップ」に加え、平成23年3月に「V4+日本」エネルギーワークショップを予定していたが、東日本大震災発生のため、直前でキャンセルとなった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成21年度の「開発協力セミナー」開催後には、V4諸国側のイニシアティブにより平成22年4月「V4+日本」開発協力セミナーが実施され、また具体的な協力案件の検討が進展するなどの動きが見られた。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成24年度において、招聘者を課長級から実務者レベルとしたことにより、各単価を下げた。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業見直し、単価見直し等による減		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業見直し、単価見直し等による減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

【防災分野における南東欧地域協力促進ワークショップ】



【「V4+日本」エネルギー効率化・再生可能エネルギー・ワークショップ】



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	滞在費	宿泊料、食事代等	0.5			
	交通費	車両借上費、タクシー代、新幹線等	0.4			
	人件費	エスコート	0.2			
	会議費	会議用飲料、昼食代	0.05			
	計		1.15	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	航空賃	3			
	計		3	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エモック・エンタープライズ	ワークショップ開催業務一式	1	3	76.8
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	被招へい者	0.4		
2	個人	被招へい者	0.8		
3	個人	被招へい者	0.2		
4	個人	被招へい者	0.3		
5	個人	被招へい者	0.5		
6	個人	被招へい者	0.5		
7					
8					
9					
10					

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	ワークショップ座長	0.02		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エモック・エンタープライズ	ワークショップ開催業務一式(キャンセル料)	0.02	4	73.7
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	被招へい者(航空券キャンセル料)	0.01		
2	個人	被招へい者(航空券キャンセル料)	0.01		
3	個人	被招へい者(航空券キャンセル料)	0.03		
4	個人	被招へい者(航空券キャンセル料)	0.03		
5	個人	被招へい者(航空券キャンセル料)	0.01		
6	個人	被招へい者(航空券キャンセル料)	0.01		
7					
8					
9					
10					